

# 皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

## なぜ多くの人々が「単に肌を潤す」スキンケアを続けているのか

皮膚は、紫外線や異物の侵入を防ぎ、水分の蒸散を防ぎ、内部の水分を保持する「バリア(第1次防衛機構)」を持っています。このバリアの要は、細胞間脂質のラメラ構造の脂質層です。しかし、現代のスキンケアの多くは「単に肌を潤す」ことに焦点を当てており、皮膚バリアの修復や保護に十分な対応ができていません。

### 1. 皮膚バリアの重要性

皮膚バリア「第1次防衛機構(細胞間脂質のラメラ構造)」は、外部からの有害物質の侵入を防ぎ、水分の蒸散を防ぐことで、内部の水分を保持する役割を果たしています。この第1次防衛機構が損傷した場合に発動される防御メカニズム第2次防衛機構があります。これには主に二つの反応「角質肥厚」「免疫反応」があり、皮膚が自己防衛のために行う自然なプロセスで一時的には有益です。しかし、これが長期的に過剰になると、肌トラブルや老化の原因となります。この皮膚科学の基本的な理解に基づいた事実を、ほとんどの方は知りません。肌トラブルや老化を防ぐためには、第2次防衛機構が発動しないように、皮膚バリアである「第1次防衛機構(細胞間脂質のラメラ構造)」を修復するスキンケアが重要です。

### 2. 現代のスキンケアの問題点

多くのスキンケア製品は「保湿」に重点を置っていますが、これは皮膚バリアの修復には不十分です。以下の要因が、なぜ多くの人々が「単に肌を潤す」スキンケアを続けているのかを説明します。

#### 2.1 情報の不足

多くの人々は、皮膚バリアの重要性やその修復方法についての知識が不足しています。スキンケア製品の広告やマーケティングが「保湿」の重要性を強調することが多いため、消費者はそれが最も効果的な方法だと信じてしまうことがあります。

#### 2.2 即効性の期待

保湿製品は使用後すぐに肌が柔らかくなり、見た目が改善されるため、即効性を求める人々にとって魅力的です。皮膚バリアの修復には時間がかかるため、短時間で効果を実感しにくいことがあります。

#### 2.3 習慣と慣れ

多くの人々は長年の習慣として保湿製品を使用しており、新しいスキンケア方法に切り替えることに抵抗を感じる場合があります。

#### 2.4 製品の選択肢の少なさ

リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品は市場にあまり多く出回っていないため、消費者がそのような製品を見つけるのが難しい場合があります。

#### 2.5 コストの問題

高品質な皮膚バリア修復製品は一般的に高価であり、経済的な理由から手が届かない人もいます。

### 3. 効果的なスキンケア方法

皮膚科学に基づいた効果的なスキンケア方法は、皮膚バリアを修復し、その自然な機能をサポートすることです。具体的には、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品を使用することが推奨されます。

#### ●結論

多くの人々が「単に肌を潤す」スキンケアを続けているのは、情報不足、即効性の期待、習慣、製品の選択肢の少なさ、コストの問題などが原因です。しかし、皮膚科学に基づいた正しいスキンケアの知識を広めることで、より多くの人々が効果的なスキンケア方法を取り入れることができます。この報告書が、皮膚科学の理解を深め、効果的なスキンケアの実践に役立つことを願っています。